

# 宮崎県の調査結果

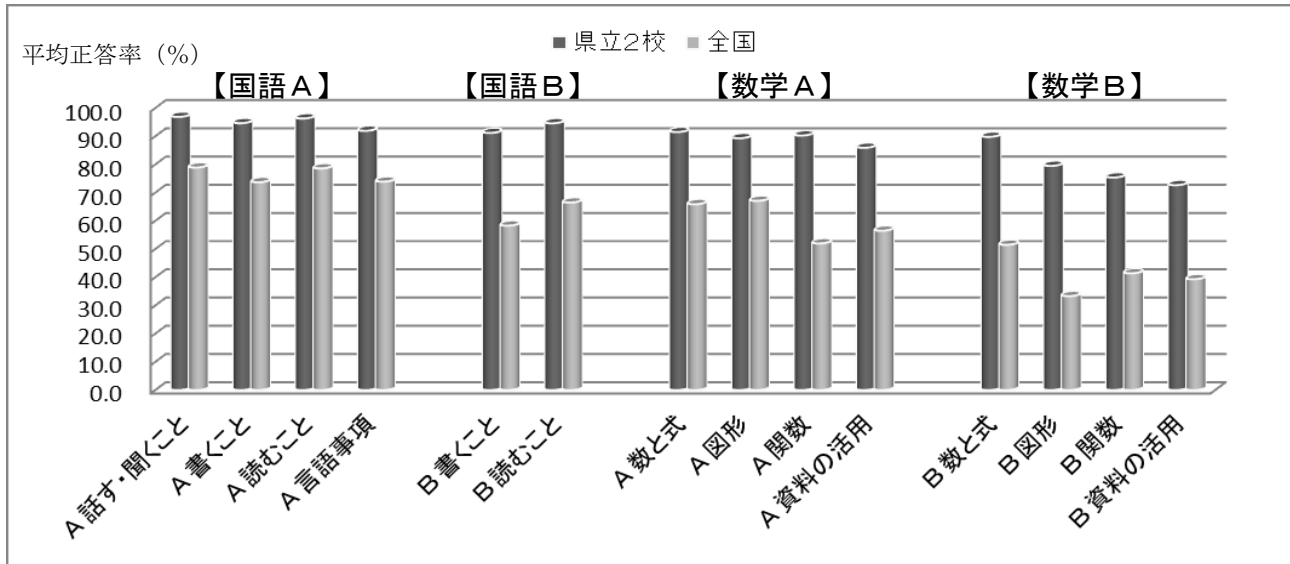
【 県立中学校の結果の概要 】

学校政策課

## ■ 県立中学校の状況

※ 五ヶ瀬中等教育学校については、熊本地震の影響により、調査問題が配送されず調査が実施できなかったため、本集計には反映されていない。

### ○ 領域別の平均正答率の状況



### ○ 特徴

- ・ 全ての教科区分において全国平均を上回っている。
- ・ 平均正答率が9割を超えている領域  
国語Aの全領域、国語Bの全領域  
数学A「数と式」「関数」の2領域
- ・ 全国平均を30ポイント以上上回る領域  
国語B「書くこと」の1領域  
数学A「関数」の1領域、数学Bの全領域

## ■ 質問紙調査からみた状況と今後の指導のポイント

### ○ 宮崎西高等学校附属中学校

- ・ 自分で計画を立て家庭学習に取り組む生徒の割合が高く、学習習慣が身についている。
- ・ 放課後や長期休業日を利用した補足的な学習サポートが行われている。
- ・ 学習指導において、分かるまで教えるといった指導の徹底が図られている。

生徒の思考力・判断力・表現力をさらに高めるために、言語活動の実施状況や課題について共通理解を図り、学校全体でより効果的な指導方法の工夫・改善を図っていく必要がある。

### ○ 都城泉ヶ丘高等学校附属中学校

- ・ 家庭での学習方法の具体例を示すなどの指導をとおして、学習習慣の定着を図っている。
- ・ 長期休業日を利用した補足的な学習サポートが行われている。
- ・ 教科のねらいを明確にした上で言語活動が適切に位置づけられており、学級やグループでの話し合いなど効果的な取組がなされている。

学習したことの社会での有用性や、学ぶ意義を実感させるなどの指導をとおして、更に学習意欲を高め、主体的な学習を充実させていく必要がある。

※ 調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。  
「平成28年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」より